

この派遣事業を通じて

吉田中学校 長田 昂也

私は、この「中学生姉妹都市派遣事業」を通して、日本とアメリカの文化の違いを学んだり、英会話力やコミュニケーション能力を高めたりすることができました。男子4人、女子9人の13人で参加し、最初は他校の生徒と仲良くできるか不安でしたが、活動が続けるうちに自然と打ち解けることができ、最後にはみんなで笑い合える仲間になりました。

アメリカに到着して最初に驚いたのは、家や庭の広さでした。日本と比べるとすべてが大きく、文化の違いを実感しました。ホストファミリーのみんなは初対面でもとてもフレンドリーに接してくれ、私も誰にでも明るく優しく接することができる人になりたいと思いました。

ホストファミリーと過ごした期間には、多くの貴重な経験をしました。動物園では、日本では見られない動物や迫力ある展示を間近に見ることができ、とても新鮮でした。さらに、夕食の後にはアメリカの西部開拓の歴史について話を聞き、教科書だけでは知ることのできないリアルな歴史に触れることができました。また、日本の伝統的な遊びであるあやとりや手遊び、けん玉やだるまおとしを現地の人たちに紹介すると、とても興味を持ってくれて、一緒に楽しむことができました。言葉が通じないこともあったが、笑顔で交流することができてよかったです。

派遣団で集まった際には、みんなでYOASOBIの「アイドル」のダンスを披露し、さらに「ビリーブ」を合唱しました。練習の成果を発揮でき、ホストファミリーや現地の方々も笑顔で拍手をしてくださり、大きな達成感を得ることができました。観光では「ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ」を訪れ、雄大な自然の中で仲間と写真を撮ったことが心に残っています。そしてホストファミリーデー最終日には、ホストファミリーと一緒に電車でパイクスピークに登りました。山頂から見た壮大な景色は忘れられない思い出となりました。

この派遣事業を通じて、英語で話しかけたり相手の言葉を聞き取ったりすることを重ねるうちに、自分の英会話力や聞き取る力が少しずつ伸びていくのを感じました。また、他校の生徒とも仲良くなれたことは大きな財産です。アメリカの文化や人々の優しさに触れ、日本の文化を伝えることの楽しさも学ぶことができました。これからはこの経験を生かし、相手を思いやることができる人間として成長していきたいです。